

# えみちゃんレポート No18

茨城県政報告

2016年 春号



茨城県議会議員 設楽詠美子(しだら えみこ) 住所 筑西市二木成993  
電話 24-9119 FAX 48-8022

筑波山の緑が深まり、皆様はいかがお過ごしですか？

昨年より娘と参加している明野薪能に、今年も出演させていただきました。こんなに緊張することはないほど、ドキドキしました。桜の木と馬の皮でできている鼓を通して自然への感謝と小舞のゆっくりと動く優雅さを体感することができました。娘と一緒に参加でき、とても幸せでした。仕事をしているため、十分に時間をとることができないので、ご協力いただいた皆様に感謝の気持ちで取り組みました。



これからも、ワーママ(働くママ)として地域のために頑張っています。

## 多子世帯の保育料負担の軽減がスタート！ (県予算 241,980千円)

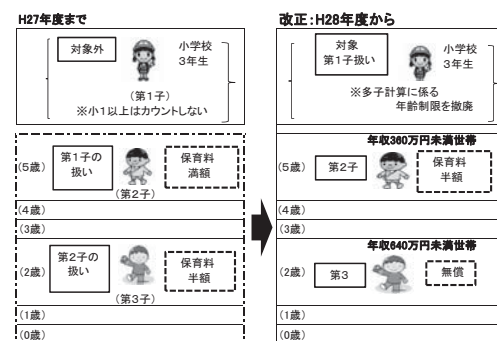
「筑西市の子育て中のママより、一人目が小学校に入っても、2人目の子どもが保育園にいるときは、補助が必要！」

という、要望が寄せられました。

茨城県の保健福祉部子ども家庭課に対して話し合いを行い、同様の指摘が集まり、厚生労働省へ要望し大きく前進しました。今までは同時に保育園に2人以上のお子さんが入園していないと、補助の対象から外れてしまい、子育て中のご家族には大きな負担でした。

【改正：H28年度から】

年収約360万円未満の世帯においては第2子半額(国)  
年収約640万円未満で第3子以降無償化(県1/2・市町村1/2)



## 茨城県子どもの貧困対策に関する計画を策定！

日本の子どもの貧困率は、16.3%(H24)。この問題を踏まえ、茨城県では教育・生活・就労・経済的な支援の4つの柱で、子どもの貧困対策に関する計画を立てました！子どもたちの将来が生まれ育った環境に左右されないように、「子どもたちの学びたい・いっぱい食べたい」を応援します。

この4月より約半数の市町村で困窮世帯の子どもに対する学習支援事業をスタートします。

## ちくせい寺子屋、いよいよスタート！

NPO法人地球の保健室(高久延代理事長)が筑西市より委託を受けて、学習支援事業「ちくせい寺子屋」がはじまります。

寺子屋長に酒井高志先生、顧問に上野怜先生、そして教員OBの先生方と志す若者たちが心をこめた学びの場をつくります。

さらに、子ども食堂をはじめたいという筑西市のおせっかいおばちゃんたち(谷貝順子会長)が必要に応じて子どもたちへの補食も考えてあります。



## 医師確保・偏在について、新中核病院の永井建設委員長と意見交換をしました！

(県予算 51,700千円)

茨城県では、医師確保に向けて海外での研修を受けられる仕組みや総合診療を学ぶ特訓ゼミなど様々な企画しております。

県立中央病院の名誉院長である永井秀雄先生と佐久総合病院の小児科医長代理であり厚生労働省に出向している加藤琢真先生と意見交換をしました。

永井秀雄先生が中央病院に就任以来、医師が増え続けて昨年の医師のマッチングは定数を越えての応募があります。現在では、県内の医師不足地域へ医師の派遣を行うほどになっております。

永井秀雄先生の今までの取り組みをきかせていただきました。

県立中央病院の医師数 (各年度4月1日現在、単位:人)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
医師数	88	98	105	107	111	114	129

①高い技術を身に着けることのできる病院としたこと。

たとえば、ダビンチの導入など。

②国際的に活躍する医師を受け入れたこと

たとえば、国境なき医師団で働く医師の日本での受け入れ病院としたことなど。

③災害医療などに力を注ぐ医師や看護師を応援していること

熊本での災害など、災害医療に有志で出かけるスタッフを応援して、早く送り出すことなど

働くスタッフの気持ちを尊重した取り組みを行い、医師や看護師の確保に力を注いできたことをきかせていただきました。さらに、筑西市の中核病院の医師確保に関しても、積極的に取り組んでいくという気持ちをきかせていただきました。

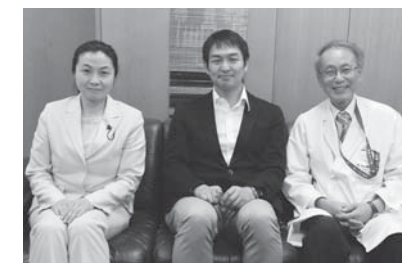
加藤琢真先生からは、佐久総合病院での農村医学の考え方などを学びました。治療だけでなく、病気を予防すること、そのために地域に入ること、さらには発展途上国の保険医療に貢献していることをきかせていただきました。

幅広い活動をする病院は、筑西市と同じ人口10万人の佐久市があります。医師が十分に確保され、今後も学んでいきたいと思います。

茨城県では医師の偏在が大きな課題の一つです。経年的にジニ係数を計算したところ、医師の絶対数は増えているけれど偏在が拡大する傾向が明らかになりました。

(※縦軸のジニ係数は1に近いほど偏在が大きいと考える。)

筑波大学大学院 医療政策・経済学 大久保一郎先生のもとで研究し、計算しました。

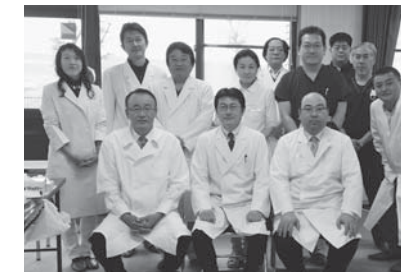


## がん対策に力を注いでいます！ (県予算 45,275千円)

がんの予防や検診の推進や専門医療従事者の育成、口腔ケアの普及のための医科・歯科連携を行います。

茨城県では、市内5つの市町村が独自に口腔がん検診を行っております。筑西市では、筑西歯科医師会が委託(市170千円)を受けて口腔がんリスクが高い方(たばこ指数900さらに飲酒)と希望者に対して検診を平成25年から始めております。

現在、私は政務活動として費用効果分析を行い、茨城県の口腔がん検診の指針が出せるように調査をしております。



## 防災環境商工労働委員会で質問しました

### 【質問1】

地域の安心・安全を守る茨城県の消防署員と消防団員のみなさんのライフジャケット等の整備状況を確認して、茨城県でもサポートすべきではと質問させていただきました。



### 《消防安全課 課長》

消防署員の救助隊と消防団員のライフジャケットの配備率は、平均54.0%と24.6%と十分ではありません。筑西広域本部は29.4%(16番目/24消防本部中)、筑西市は、31.4%(18番目/44市町村中)の配備率になっております。

県としては、消防団員のライフジャケット等の支援のための予算を確保しました(県1/2 市1/2 予算29,971千円)。救助隊に関しては、各市町村や事務組合に整備を推進します。

### 【質問2】

創業したい若者・女性たちは、どこに、どのように相談して、どのように進めたらよいですか？日本の開業率は欧米と比較して半分程度の4.8%であり、本県の開業率も4.6%(全国22位)と全国平均を下回っております。若いうちからの創業したい気持ちを育むことも重要です。また、クラウドファンディングの活用は重要と考えますがどのように推進しますか？

※クラウドファンディング(Crowdfunding)とは、起業家等がアイデアの実現など「ある目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ることをいいます。

### 《産業政策課》

まずは、茨城県中小企業振興公社に相談をしてすすめることが良いと思います。

いばらき産業大県創造基金事業(113,000千円)を活用した様々な創業支援を受けることが可能です。若者の創業に対する意識づくりのために、中学生や高校生を対象にした未来のための企業家育成事業(3,476千円)を計画しております。クラウドファンディング(5,000千円)に関しても、セミナーを開き、実際に活用するためのノウハウを説明する予定です。

## 工房「純」創業！ - 産業大県創造基金事業を利用して -

筑西市の若者3人により、地元の木材を使った木札等の加工品をつくる事業が創業されました。何度も、専門家による無料のよろず相談を受けながら、いばらき産業大県創造基金事業を活用して、形をつくっていきました。



## ●県政報告会、数人でも出かけます！

ご意見やご要望、ご相談がある方は下記までご連絡下さい。

しだらえみこ事務所 茨城県筑西市二木成993  
TEL 0296-24-9119 FAX 0296-48-8022  
Email:eshidara@peach.plala.or.jp  
HP:http://www9.plala.or.jp/eshidara/  
Facebook 更新中: しだらえみこ 検索



娘の桃がかいた絵です

## 農業支援 雪の被害知事に要望！

1月18日の大雪の被害において、筑西市の農業者の皆さんが知事に要望を行いました。その後すぐに、被災を受けた栃木・群馬・埼玉県と連携をして国に対しての支援の要望を行いました。現在、筑西市を中心に農業者の皆様への支援を開始しております。

### ◎茨城県の農業支援 (総予算 3,635,548千円)

- ①産地改革チャレンジ補助事業 ②産地パワーアップ支援事業
- ③地域ブランド力強化事業 ④農産物ブランド力強化事業
- ⑤農林水産業成長産業化プロジェクト事業 ⑥農産物等輸出拡大事業
- ⑦担い手確保・経営強化支援事業 ⑧農業担い手育成応援事業
- ⑨畜産競争力強化対策事業 ⑩和牛生産基盤強化対策事業
- ⑪家畜生産性向上対策補助事業 ⑫ブランド豚肉生産拡大事業

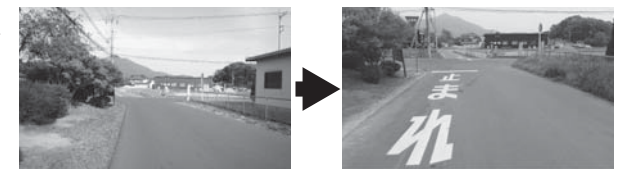


農業者の皆さんは、同じような事業がたくさんあり選ぶことが難しく、書類を書くことも容易ではないと思います。県としてしっかりしたサポートをするべきと農林水産部に提案しました。

多くの皆さんにご活用いただきたいと思います。興味のある方はぜひ、ご相談ください。

## 道路等に関して皆様から頂いた要望のご報告！

(その1) 向上野の事故が多かった交差点に止まれの標識が設置



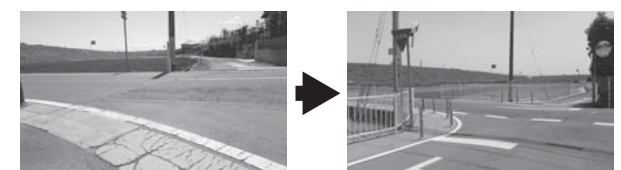
(その2) 新国道50号に「県西総合公園行」の看板が設置



(その3) 柳の通学道路の舗装が完了



(その4) 神分の横断歩道の設置に向けて歩行者だまりが整備



(その5) 県道高田筑西線の予算が確定し、今年度9月より工事をスタート(5,000千円)  
※全体の1/3部分の工事を予定

(その6) 岩瀬二宮線の排水工事が今年度7月よりスタート(12,000千円)